

第二十三回 帝國議會 貴族院議事速記錄第十四號

明治四十年三月十九日(火曜日)

午前十時七分開議

議事日程 第十四號 明治四十年三月十九日

午前十時開議

第一 子爵堀田正養君請暇ノ件

第二 刑法改正案(議院提出衆)
裁判所、臺灣總督府法院、統監府法務院又ハ理事廳
第三 ト關東都督府法院トノ間ニ於ケル法律上ノ共助ニ
關スル法律案(政府提出)

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第五 關東都督府及韓國駐劄軍陸軍軍法會議法案(政府
提出)

第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第七 日本勸業銀行法中改正法律案(政府提
出)

第八 農工銀行法中改正法律案(政府提出)
北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府
提出)

第九 藥品營業並藥品取扱規則中改正法律案
(政府提出)

第十 種牡牛検査法案(政府提出衆)
輸入原料砂糖戻稅法中改正法律案(政
府提出衆)

第十一 明治三十九年度一般會計所屬ノ經費
ニ於ケル剩餘金繰入ニ關スル法律案
(政府提出衆)

第十二 同日各特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ
同日各特別委員會ニ於ケル法律上ノ共助ニ關スル法律案
裁判所、臺灣總督府法院、統監府法務院又ハ理事廳ト關東都督府法院ト
ノ間ニ於ケル法律上ノ共助ニ關スル法律案

第十三 關東都督府及韓國駐劄軍陸軍軍法會議法案
(政府提出衆)

第十四 東京市制案特別委員會
委員長 侯爵黑田長成君 副委員長 村田保君
森林法改正法律案特別委員會
委員長 公爵二條基弘君 副委員長 原保太郎君

第十四 権太二於ケル租稅ニ關スル法律案(政
府提出衆)
印紙稅法中改正法律案(衆議院提出)
第一讀會ノ續(委員長)

第十五 印紙稅法中改正法律案(衆議院提出)
第一讀會ノ續(委員長)
〔東久世書記官朗讀〕
〔院送付〕

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

去ル十六日本院ニ於テ採擇ヲ議決シタル左ノ各請願ハ意見書ヲ付シ即日之
ヲ政府ニ送付セリ

電信事務取扱開始ノ請願

高等工業學校設置ニ關スル請願

小學校教員優遇ノ請願

國字更新ニ關スル請願

水產組合法制定ノ請願

鹽專賣法改正ノ請願

渡良瀬川河身改修ノ請願

羽越沿岸縱貫鐵道速成ノ請願

大船渡築港鐵道株式會社ヘ利子補給ノ請願

新潟地方裁判所新發田支部復舊ノ請願

重要物產同業組合法改正ノ請願

矢作川河身改修費國庫支辨ノ請願

同日政府ヨリ左ノ法律案ヲ受領セリ

裁判所、臺灣總督府法院、統監府法務院又ハ理事廳ト關東都督府法院ト
ノ間ニ於ケル法律上ノ共助ニ關スル法律案

關東都督府及韓國駐劄軍陸軍軍法會議法案
第一讀會ノ續(委員長)

同日各特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ
同日各特別委員會ニ於ケル法律上ノ共助ニ關スル法律案
裁判所、臺灣總督府法院、統監府法務院又ハ理事廳ト關東都督府法院ト
ノ間ニ於ケル法律上ノ共助ニ關スル法律案

衆議院議員選舉法中改正法律案外同法律案二件特別委員會

委員長 伯爵萬里小路通房君 副委員長 谷森眞男君

貴族院規則第二十八條中改正ノ動議特別委員會

委員長 男爵石黒忠惠君 副委員長 男爵川口武定君

同日衆議院ヨリ左ノ同院提出案ヲ受領セリ

府縣制中改正法律案

鑛業法中改正法律案

和歌山縣下郡界變更法律案

治安警察法中改正法律案

日本水產銀行法案

漁業法中改正法律案

災害地方田畠地租免除ニ關スル法律案

北海道地方費法中改正法律案

北海道會法中改正法律案

同日衆議院ヨリ政府提出海港檢疫法中改正法律案ハ本院ノ議決ニ同意シ奏

上シタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

昨十八日各特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

明治三十九年度一般會計所屬ノ經費ヲ各帝國大學特別會計ニ繰越ス場合

ニ於ケル剩餘金繰入ニ關スル法律案特別委員會

委員長 伯爵寺島誠一郎君 副委員長 子爵鍋島直彬君

樺太ニ於ケル租稅ニ關スル法律案特別委員會

委員長 伯爵廣澤金次郎君 副委員長 男爵小澤武雄君

藥品營業並藥品取扱規則中改正法律案特別委員會

委員長 伯爵正親町實正君 副委員長 男爵高木兼寛君

同日衆議院ヨリ政府提出樺太ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案ヲ受領セリ

同日衆議院ヨリ同院提出裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案ヲ受領セリ

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、議事日程第一、子爵堀田正養君請暇ノ件、是ハ病氣ノタメ本日ヨリ九日間ノ請暇デゴザイマス、許可イタシテ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第二、刑法改正案、政府提出、衆議院回付、會議、特別委員長報告、黒田侯爵

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第三、右衆議院ノ修正ニ同意シ難シト議決ス依テ及報告候也

○議長(公爵德川家達君) 刑法改正案(衆議院回付)

○議長(公爵德川家達君) 「左ノ報告書ハ朗讀ヲ經ザルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス以下之ニ倣フ」

右衆議院ノ修正ニ同意シ難シト議決ス依テ及報告候也

明治四十年三月十六日

右特別委員長

侯爵黑田長成

貴族院議長公爵德川家達殿
〔侯爵黑田長成君演壇ニ登ル〕

○侯爵黑田長成君 此委員會ハ去ヌル十六日、我ニ特別委員ニ付託セラレマシタ、同日正副委員長ノ選舉ヲ終リマシテ、直ニ委員會ヲ開キマシテゴザイマス、通常ノ例ト違ヒマシテ斯ノ如ク衆議院ニ於テ數多ノ修正ヲ加ヘテ本院ニ回付セラレタノデアリマスカラ、審議ヲ鄭重ニセラレル爲ニ特ニ委員ニ付託サレタノデアリマスカラシテ、我ニ委員ニ於キマシテモ篤ト調査ヲ致シタ

ノデアリマス、是ハ申スマデモテク議院ノ規定ニ依リマシテモ篤ト調査ヲ致シタ對シテ同意スルカ又ハ不同意ヲスルカト云フコトヲ決スベキ場合ト存ジマシテ、政府ノ説明モ篤ト承リマシタ末、全會一致ヲ以テ此衆議院ノ修正ニハ同意シ難シト議決イタシマシテゴザイマス、幸ニシテ此議場ニ於テモ此議ヲ容

レラレマスルコトニナリマスレバ、申スマデモナク兩院協議會ニ移サルベキコトト信ジマス、協議會ニ移リマシタ以上ノコトハ此所ニ於テ彼此議スベキ場合デナイト確ク信ジテ居ルノデアリマス、我ニ委員一同ハ何分此衆議院ノ修正ニハ同意ガ出來マセヌノデゴザイマス、先般ノ當院ノ決議ニ依リタイト言フ所カラ、同意シ難シト議決イタシマシタ、此段御報告イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ衆議院ノ回付案ニ同意スペシトスル諸君ニハ起立ヲ請ヒマス採リマス、衆議院ノ回付案ニ同意スペシトスル諸君ニハ起立ヲ請ヒマス

起立者 無シ

○議長(公爵德川家達君) 起立者ハゴザイマセヌカラ、不同意ト云フコトニ

決定イタシマス、同意セザルコトニ決シマシタ以上ハ、議院法ノ第五十五條ニ依リマシテ兩院協議會ヲ開クノ要求ヲ衆議院ヘ向ツテ出ダシマスコトヲ宣告イタシマス、就イテハ議事日程ヲ變更相成リマシテ協議委員ノ選舉ヲ是ヨリ行ハウト存ジマス、御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、議事日程ハ變更サレマシタ

○侯爵黒田長成君 此協議委員ノ選定ハ議長ニ御一任イタシテ、其數八十名ト致シタイト存ジマス、ドウゾ御贊成ヲ願ヒマス

○男爵川口武定君 贊成

○男爵伊達宗敦君 贊成

〔其他「贊成」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 黒田侯爵ノ動議ノ通り、協議委員ノ數八十名、其委員ハ議長ノ指名、此動議ノ通リテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、直ニ其委員ノ氏名ヲ書記官長ヲシテ報告ヲ致サセマス

〔太田書記官長朗讀〕

刑法改正案兩院協議會委員

侯爵黒田 長成君	子爵酒井 忠亮君	名村 泰藏君
村 田 保君	小松原英太郎君	波多野 敬直君
奥 山 政敬君	富井 政章君	一木 喜徳郎君
兒 玉 淳一郎君		

右
裁判所、臺灣總督府法院、統監府法務院又ハ理事廳ト關東都督ノ間ニ於ケル法律上ノ共助ニ關スル法律案
明治四十年三月十六日
勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス
内閣總理大臣 侯爵西園寺公望
司法大臣 松田正久
内務大臣 原敬
外務大臣 子爵林董

裁判所、臺灣總督府法院、統監府法務院又ハ理事廳ト關東都督府法院トノ間ニ於ケル法律上ノ共助ニ關スル法律案
裁判所及臺灣總督府法院共助法ノ規定ハ裁判所、臺灣總督府法院、統監府法務院又ハ理事廳ト關東都督府法院トノ間ニ於ケル法律上ノ共助ニ之ヲ準用ス

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔政府委員石塚英藏君演壇ニ登ル〕

○政府委員(石塚英藏君) 本案提出ノ理由ヲ説明イタシマス、是ハ理由書ニモ認メテアリマス通り、一方ハ關東都督府、一方ハ内地ノ各裁判所、臺灣總督府ノ法院及統監府ノ法務院、理事廳、此間ニ訴訟書類ノ送達トカ又ハ證據調、又ハ令狀ノ執行等ニ付イテ、民事刑事ノ事務ニ付イテ互ニ囑託ヲ受ケテ共助ヲスルト云フ規定ガ缺ケテ居ル爲ニ不都合ヲ感ジマスカラ、此案ヲ提出イタシマシタ、既ニ臺灣總督府ニモ統監府ニモ此例ガアリマシテ、之ト同ジヤウナコトヲヤシテ居リマス、極メテ簡単ナル法案デモアリマスカラ、成ルベク速ニ御協賛アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御質問モゴザイマセヌヤウデアリマスカラ、次ノ議事日程ニ移リマス

〔異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長（公爵徳川家達君） 議事日程第四、右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉、是ハ議長ガ選定イタシテ御異存ゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ」

○議長（公爵徳川家達君） 御異議ナイト認メマス

○議長（公爵徳川家達君） 議事日程第五、關東都督府及韓國駐劄軍陸軍軍法會議法案、政府提出、第一讀會

關東都督府及韓國駐劄軍陸軍軍法會議法案

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治四十年三月十六日

内閣總理大臣 侯爵西園寺公望
陸軍大臣 寺内正毅

關東都督府及韓國駐劄軍陸軍軍法會議法

第一條 關東都督府及韓國駐劄軍ニ陸軍軍法會議ヲ設ク
第二條 關東都督府陸軍軍法會議及韓國駐劄軍陸軍軍法會議ハ關東都督及韓國駐劄軍司令官ノ所管及守備地方ヲ以テ管轄トス

二箇以上ノ軍法會議ヲ設タルトキハ各軍法會議ノ管轄ハ關東都督又ハ韓國駐劄軍司令官之ヲ定ム

〔子爵新莊直陳君演壇ニ登ル〕
貴族院議長公爵徳川家達殿

第三條 軍法會議ノ構成、權限及治罪ニ關スル手續ハ陸軍治罪法師管軍法會議ノ例ニ依ル

第四條 關東都督及韓國駐劄軍司令官ハ陸軍軍法會議ニ關シ師團長ノ師管軍法會議ニ於ケルト同一ノ職權ヲ有ス

第五條 陸軍檢察官ハ陸軍治罪法第三十一條ノ諸官ノ外關東都督府陸軍副官及韓國駐劄軍副官ヲ以テ之ニ充ツ

〔國務大臣寺内正毅君演壇ニ登ル〕

○國務大臣（寺内正毅君） 此案ハ満洲ニ駐屯イタシマスル軍隊ノ爲ニ、都督府竝ニ韓國ニ駐劄イタシマスル軍隊ノ爲ニ、韓國駐劄軍司令部ニ軍法會議ヲ置キマスル法案デゴザイマス、大體此軍法會議ノ立前ハ師管以外ニ置ク立前ニ平時ハナツテ居リマセヌノデ、戰時ニ於キマシテハ出征ノ軍隊ニ軍法會議ヲ

置クコトハ法律ガゴザイマスガ、平時ニ於キマシテ師管以外ニ駐屯イタシマス所ノ師團ニ軍法會議ヲ置クコトハ、法律上置クコトガ出來ナイコトニナツテ居ル爲ニ、此法案ヲ提出イタシマシタ次第デゴザイマス、誠ニ唯ダ軍法會議ヲ關東都督府韓國駐劄軍ニ置クト云フ短簡ナ法案デゴザイマス、御調査ノ上、成ルベク速ニ御協贊ノ運ビニナリタイト希望イタシマス

○議長（公爵徳川家達君） 議事日程第六ニ移リマス、右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉、是モ議長ガ選定イタシテ御異存ゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ」

○議長（公爵徳川家達君） 御異議ナイト認メマス

○議長（公爵徳川家達君） 議事日程第七、日本勸業銀行法中改正法律案、政府提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

日本勸業銀行法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治四十年三月十五日

右特別委員長
子爵新莊直陳

○子爵新莊直陳君 日本勸業銀行法中改正法律案外二件ノ委員會ノ經過並ニ結果ヲ便宜上、一括シテ、御報告ヲ致シマス、先づ勸業銀行法中改正案ニ付キマシテ申上ゲマスコトニ致シマス、此勸業債券ハ諸君モ御承知ノ通り、始メハ五十圓券ヲ發行イタシマシタケレドモ、應募者ガ思ハシクナイ爲ニ、其後ニ至リマシテ二十圓ノ債券ニ額面ヲ引下ゲマシタ、所ガ其結果ガ大分宜シウゴザイマシタ、ケレドモ日露ノ戰役ニ際シマシテ時蓄債券ヲ發行スルコトニナリマシタ、ソレデ昨年中テ時蓄債券發行ノ期限モ切レマシテ、右ノ債券發行中ハ勸業債券ヲ發行スルコトハ見合セテ居リマシタ、ソレデ此五圓ノ時蓄債券ヲ數年間、勸業銀行デ賣出シテ居リマシテ、今日俄ニ二十圓ノ勸業債券ヲ發行イタシマシテモ引受人ガ如何ト懸念スル所カラ、此度法律案ヲ改正イタシマシテ、二十圓ヲ十圓ニ引下ゲマシテ、民間ニ散在スル所ノ零碎ノ資

金ヲ吸收イタシマシテ、之ヲ勸業銀行ノ貸付資金ニ充テ、又ハ之ヲ農工銀行等へ配付イタシマシテ、貸付ヲナサシメマシテ、戦後益々農工業ノ改良發達ヲ圖リ、又債券引受人ノ便宜ヲ圖リマシテ、六箇月毎ニ複利ノ計算ヲ致シマシテ、一定ノ年數每ニ之ヲ仕拂フト云フ改正案デゴザイマシテ、右ハ頗ル時勢ニ適合シタルモノト認メマシテ、委員會ハ全會一致ヲ以テ原案ノ通りニ可決

イタシマシタ、又農工銀行法中改正法律案、北海道拓殖銀行法中改正法律案、此兩案ハ同一ノ改正デゴザイマスカラシテ、其理由ヲ東ネテ申上ゲルコトニ致シマス、此兩銀行トモ現行ノ法律ニ據リマスレバ産業組合法ニ依リマシテ設立イタシマシタ所ノ無限責任ノ組合ノ外ニハ貸出ヲスルコトガ出來ナイコトニナツテ居リマスガ、追々此農工銀行、拓殖銀行ノ基礎モ年ヲ經ルニ從テ鞏固ニモナリマスシ、又時勢ノ進運ニ從ヒマシテ産業組合モ發展イタシマシテ参リマシタカラ、此處ノ改正ハ無限責任ノミニ限ラズ、有限責任、若クハ保證責任ノ産業組合ニモ貸付ガ出來ルト云フ途ヲ開キマシテ、又一方ニハ地方長官及監理官等ニ訓示等ヲ致シテ十分ニ取締ヲ致シ、産業組合ニ貸出ヲ爲サシメマスルト云フコトハ、政府委員ノ説明モゴザイマシタノデ、サウナリマスレバ銀行ニハ、當業者ニモ好都合デゴザイマシテ、戰後事業ノ發展ヲ爲シマスニハ最モ必要ノ改正ト認メマシテ、是モ委員會ハ全會一致ヲ以チマシテ原案ノ通り可決イタシマシタ、此段委員會ノ御報告ヲ致シマス

〔子爵新莊直陳君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 何デスカ

○子爵新莊直陳君 議事日程第七ノ日本勸業銀行改正法律案ハ、至ッテ簡單ナ法案デゴザイマスルカラ、讀會省略デ直ニ可決アラムコトヲ望ミマス

○子爵大田原一清君 贊成

○辻新次君 贊成

〔其他」贊成」ト呼ブ者多シ〕

○議長(公爵徳川家達君) 諸君ニ御諮詢致シマスガ、便宜ノタメ議事日程

第七ヨリ第九マデノ三案ハ、括シテ議題ト致シテハ如何デアリマセウカ
〔異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

農工銀行法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治四十年三月十五日

右特別委員長

子爵新莊直陳

貴族院議長公爵徳川家達殿

北海道拓殖銀行法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治四十年三月十五日

右特別委員長

子爵新莊直陳

貴族院議長公爵徳川家達殿

○子爵新莊直陳君 サウナリマスレバ三案トモ讀會省略ヲシテ直ニ議決ヲ願ヒマス

○辻新次君 贊成

○子爵大田原一清君 贊成

○伯爵廣澤金次郎君 贊成

○南郷茂光君 贊成

○男爵川口武定君 贊成

○男爵松平正直君 贊成

〔其他」贊成」ト呼ブ者多シ〕

○議長(公爵徳川家達君) 新莊子爵ノ三案トモ讀會省略ノ動議ニ賛成ノ諸君

ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス、原案ヲ可トスル諸君ノ

起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十、藥品營業並藥品取扱規則中改正法律案、政府提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告

藥品營業並藥品取扱規則中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治四十年三月十八日

右特別委員長
伯爵正親町實正

貴族院議長公爵德川家達殿

「伯爵正親町實正君演壇ニ登ル」

○伯爵正親町實正君　本案ノ委員會ニ於キマシテ經過並ニ結果ヲ報告申上ゲマス、本案ハ昨日一回委員會ヲ開キマシテ種々審議ヲ盡シマシテゴザイマス、本案ノ改正ヲ必要トシマスル理由ハ、此醫藥ノ中デ段々不良ナ藥品ガゴザイマシテ、ソレガ近來ニ至リマシテ益甚シクナリマシタ次第デアリマシテ、坊間ニゴザイマス醫藥ノ中デ其半數以上ハ殆ド不良ノ藥品デアルト申シテモ差支ナイコトデアリマス、デ諸君モ御承知ノ如ク此醫藥ト申シマスル中ニモ效力ノ峻烈ニシテ僅カ釐毫ノ差ト雖モ之ヲ誤ルトキニ於テハ或ハ人ヲ殺シ、又ソレニ依テ人ヲ助ケルト云フヤウナ極大切ナ藥モ段々ゴザイマスルノデアリマシテ、且又之ヲ用ガマス場合ト云フモノハ、多クハ患者ノ危急ニ迫ルトキトカ、或ハ又是デ直チニ解熱ヲ行ハナケレバイカストカ何トカ云フヤウナ場合ガ多イノデゴザイマスカラ、其場合ニ當ッテ若シ其藥品ニシテ不良デアルトキニハ、其效能ヲ奏シナインミナラズ、場合ニ依テハ實ニ救フベカラザル危險ニ陥ルコトガ間ニゴザイマスル、ソレデ如何ニ名醫ガ診斷ヲ誤ラズシテ適當ノ配剤ヲ致シタ所デ、今申ス藥品ニシテ不良デアル日ニハ其目的ヲ達スルコトハ出來ヌ有様デアリマス、サウ云フ有様デアルニモ拘ラズ、政府ハ何ガ故ニ此藥品ノ取締ヲシナイカト云フコトニナリマスレバ、如何セム現在ノ法律ハ不備ニシテ、現在ノ法律デハ到底其取締ヲスルコトハ出來ヌコトニナッテ居リマスノデゴザイマス、故ニ此法案ノ改正ト云フコトハ一日モ忽ニスベカラザルコトニナッテ居リマス、故ニ政府ハ茲ニ見ル所アッテ、去ル三十五年ニ此法律ノ改正案ヲ衆議院へ提出ニナリマシタガ、此時ニ於キマシテハ委員會ニ於キシマテハ可決ニナリマシタガ、何カ政府ノ方ノ取締等ノ都合ガアタト見エマシテ其時ニハ政府ハ撤回サレマシタ、其次ガ今回ノ提出ニナッタ

デアリマシテ、今回ハ以上三回目ニ當リマスノデゴザイマス、其改正ニナリマスル理由ノ大體ヲ申上ゲマスレバ、今日マデハ此藥品ヲ販賣イタシマス者ニ付イテ、如何ニ不良ノ藥品ヲ販賣シマシテモ、其不良タルコトヲ知テ故意ニ之ヲ販賣授與セザル以上ハ、責任者ガ無イノデアリマス、藥ニ對スル責任ヲ以テ罰セラル所ノ者ハ一人モ無イノデアリマス、ソレハ何カト言ヘバ醫者ハ若シ醫者ノ所ニ於テ不良藥品ヲ發見シテ見マシテモ、醫者ハ此藥ノ純雜良否ヲ識別スル學識ノ無イモノデアルト云フコトデ其罪ハ負ハレヌノデアリマス、ソレカラ藥種商ハドウカト言ヘバ、藥種商ハ一個ノ商人デアッテハ、是ハ藥品ニ對スル學問ヲシタモノデ無イカラ、是モ辨別スルノ力ガ無イト云フノデ罪ニ問ハレナイ、ソレカラ又製造業者ハドウカト言ヘバ、是ハ又會社デアッテ法人ハ罰セラルル規則ガ無イカラ、是モ罰セラレヌト云フヤウナコトデアッテ、トウノ製造者カラ藥種商、醫者ノ手ニ渡ツテ患者ノ口ニ這入ルマデ、藥種ニ對スル責任者ハ今日ノ所デハ無イノデアリマス、故ニ奸商輩ハ之ヲ奇貨トシテ續々不正ノ藥品ヲ造り出シ、サウシテ成ルベク廉ク賣ル、又醫者モ成ルホドソレハ高イ藥ヨリモ廉イ藥ガ宜イト云フモノデ、成ルベク廉イ藥ヲ買フコトニナルカラ、ドウモ取締ヲスルコトガ出來ヌ、ノミナラズ益粗製藥品ノ跋扈スルト云フヤウナコトガ今日勢ヒ免レヌコトニナッテ居ル、ソレデ此度ノ改正案ニ於キマシテハ、藥品ノ中デ最モ大切ナル藥品、即チ少量ノ差ト雖モ人命ニ關スルトカ云フヤウナ最モ大切ナ藥品、又藥品ノ中ニ於テモ變敗シ易イ藥品トカ、サウ云フ大切ナ藥品ノ或ル一定ノ數量ヲ限ッテ之ヲ内務大臣ガ指定サレルノデアリマス、ソレヲ指定藥品ト稱ヘル、ソレデ其指定藥品ト云フモノハ、藥學ヲ修メテ藥品ノ純雜良否ヲ鑑別スル所ノ學識アル藥劑師デナクテハ販賣授與スルコトガ出來ナイト云フノガ、今度ハ一ノ原則ニナック、併ナガラ藥劑師、製藥者、藥種商等ノ互ノ商業上ノ取引ハ別デゴザイマスガ、醫者ニ賣ルトカ公衆ニ賣ルトカ云フコトハ藥劑師デナクテハ出來ナク、併ナガラ醫者ハ其處方箋ニ依ツテ患者ニ授與スルノハ差支ナイト云フ取除ハ設ケラレテアル、併ナガラ此藥劑師バカリニモ限ラヌ、其藥劑師ヲ使用スル所ノ藥種商デアルナラバ、藥種商ト雖モ此指定藥品ヲ販賣シテモ構ハヌ、ソレハ何カト申セバ、藥種商ハ前申上ゲマシタヤウナ知識ノ無イ者デアルケレドモ、藥劑師ヲ雇ウテ鑑別サスレバ差支ナイモノデアルト云フ所カラ、

ソレカラ、其次ニハ、今日ハ薬品巡視官ト云フ者ガゴザイマシテ、醫者ノ藥局其他商賣人ノ店舗等ノ藥品ヲ巡視シテ歩ク官吏ガゴザリマス、ソレガ今日デハ巡視シテ參ッテ不良藥品ヲ發見シタ所デ、ソレヲ行政上ドウ云フ處分モ出來ナイ、唯惡ルイ藥デアルカラ販賣授與シテハイカヌゾ、ト云フ說諭ヲ加ヘル位ノコトデ、其以上ドウスルコトモ出來ナイノデアリマス、若シ検査官ガ立去ツタ跡デ、其商賣人ガ惡ルイ奴デ、矢張リ其藥ヲ販賣授與シタ所ガ、ドウスルコトモ出來ナイコトニナツテ居ル、故ニ今度ノ改正デ巡視官ガ行ッテ見テ、惡ルイ藥ガアツタキニハ能ク諭シテ惡ルイ藥デアルカラ賣ッテハナラヌト言ヅテ廢棄サセルコトモ出來ルシ、又疑ハシイト思ツタトキニハ巡視官ガ其場ニ於テ自分ミヅカラ廢棄シテ仕舞フコトモ出來ル、斯ウ云フコトニナリマシタ、ソレカラ一體此改正案ニ於キマシテハ、藥劑師ト云フ者ハ總テ此藥品ニ付イテノ學問知識ノアル者デアルカラ、藥品ニ對シテ藥劑師ニハ絕對的ニ責任ヲ負ハシタ、ソレ故ニ唯今申シタ指定藥品ニアラザル普通ノ藥品ト雖モ、藥劑師タル者ハ十分責任ヲ以テ能ク藥局方ノ所定ニ適合シタ藥品デナクツテハ貯藏、販賣シテハイケナイ、之ヲ犯シタ者ハ直ニ罰セラルト云フコトニナリマシタ、ソレカラ藥種商ニシテ藥劑師ヲ雇ウテ居ル者ハ、藥種商ト雖モ矢張リ指定藥品ニ付イテハ全然責任ヲ負ハナクテハナラナイ、斯ウ云フコトニナリマシタ、ソレカラ現行法ニ於キマシテハ若シ藥業者ガ惡ルイコトヲ致シテモ、ソレハ自分ノ見世ノ者ガシタトカ、或ハ家族ノ者ガシタノデアドモ、ソレデハ甚ダ無責任デアルト云フ所カラ、此改正案ニ於キマシテハ假令代理人デアラウトモ、當業者デアラウトモ、又雇人デアラウトモ、自分ノ見世ニ居ル者ノシタコトナラバ誰ノシタコトデモ戸主ガ總テ其責任ヲ負ウテ處分ヲ受ケヌケレバナラヌ、斯ウ云フコトニナリマシタ、ソレカラ今マデハ前申シマス通リ法人……會社ナドハ處罰ヲ受ケヌコトニナシテ居ルノデアリマスガ、ソレデハ甚ダ不都合デアルト云フ所カラ此度ハソレモ罰セラルルコトニナリマシタ、ソレハドウ云フ所カラ改正シタカト申セバ、煙草專賣法ノ中ニ法人ヲ罰スルト云フ條項ガゴザイマスニ付イテハ、ソレヲ準用スルコトニナリマシタ、矢張リ假令法人ト雖モ不正ナ所業ヲシタトキニハ之ヲ罰スル、斯ウ云フコトニナリマシタ、ソレカラ今一つハ是マデハ藥劑師ニ於キマシテモ不正ノ所業ノアツタキニ僅ニ百圓以下ノ罰金クラ非デ

濟ンデ居リマシタガ、改正案ニ於キマシテハ其不正ノ所業ニ對シテ情ノ重キ者ニ於キマシテハ内務大臣ハ中央衛生會ノ審議ヲ經テ其業ヲ禁止シ又ハ停止スルコトガ出來ルト云フコトニナリマシタ、今マデハ業務ヲ禁止シ停止スルト云フコトハアリマセナンダガ、改正案ニ於キマシテハ情ノ重キ者ハ免狀ヲ取上ゲテ業務ヲ禁止シ又ハ停止スルコトガ出來ル、其他イロ／＼細カイ所ガゴザイマスルガ、重モナル骨子ヲ申上ゲマスレバ、マア大體唯今ノヤウナコトデゴザイマス、先づ是ガ大體ノ改正デアリマス、併ナガラ何分、是マデハ多數ノ藥種商ト云フ者ガ一般ニ藥ヲ賣シテ居ツタモノデアリマスカラ、今急激ニ斯ウ云フコトニシテ販賣權ヲ取上ゲルト云フコトモ餘リ穩ナラヌコトデアルカラ、ソコデ此法律發布ノ際ニ五箇年以上、藥種商トナツテ營業ヲ致シテ居ル者ハ、此指定藥品ヲ販賣授與シテモ差支ナイ、併シソレハ本法施行後六箇月以内ニ於テ地方官ニ届出タル者ニ限ル、若シモ自分ニ於テモサウ面倒デアルナラバ指定藥品ノ販賣ヲセズトモ宜イト云フ者ハソレデ宜イガ、若シ販賣ヲ望ム者デ六箇月以内ニ地方長官ニ届出デルナラバ販賣シテモ宜イト云フ取除ガアリマス、又ソレノミナラズ取除ガゴザイマシテモ、五箇年以上ヤツテ居ルト云フ者ハ今日ノ調ニ依リマスト現在ノ藥種商ノ過半數ニ止マルコトデアリマス、其他ノ小サナ藥種商ト云フ者ハ是ハ全ク賣ルコトガ出來ナクナリマスカラ、是等ニ對シテモ移リ變リニ於テ準備ノ期間ヲ與フル爲ニ此法律ガ施行ニナツテモ三箇年間ハ從前ノ通り總テノ藥種商ガ賣シテモ構ハナイ、尙又一つレルト云フ結果ニナルノデアリマス、是ハ頗ル寛大ナル取除デアルノデ、ソレデ此法律ハ明治四十一年即チ明年ノ一月一日カラ施行スルト云フコトニナリマスカラ、實際此法律ノ真ニ適用サレマスノハ明治四十四年ノ一月一日カラ適用サレルト云フ結果ニナルノデアリマス、委員會ニ於キマシテハ審議ヲ盡シマシタ末、是ハ最モ必要ナル改正案デアルト云フコトヲ認メマシテ、全會一致ヲ以テ原案ノ通リニ可決スルト云フコトニ決シマシタ、大體斯様ナ次第デアリマス

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御異議モ無イヤウデゴザイマスカラ採決イタシマス

○伯爵正親町實正君 別ニ御異論モゴザイマセヌヤウデゴザイマス、且又委員會ニ於キマシテモ別段修正ヲ加ヘマセヌカラ、何卒讀會省略ヲ以チマシテ

- 男爵石黒忠恵君 賛成
- 田中芳男君 賛成
- 中島永元君 賛成
- 男爵高木兼寛君 賛成
- 伯爵柳原義光君 賛成
- 男爵松平正直君 賛成
- 男爵眞田幸世君 賛成
- 子爵山口弘達君 賛成

「其他」賛成ト呼ブ者アリ

- 議長(公爵徳川家達君) 正親町伯爵ノ讀會省略ノ動議ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

- 議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス、本案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

- 議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス

起立者 多數

- 議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十一、種牡牛検査法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

種牡牛検査法案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治四十年三月十五日

右特別委員長

伯爵徳川達孝

起立者 多數

〔伯爵徳川達孝君演壇ニ登ル〕

- 伯爵徳川達孝君 此種牡牛検査法案ノ特別委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報道ニ及ビマス、去ル十四日ニ正副委員長ノ選舉ヲ行ヒマシテ、引續イテ會議ヲ開キマシタ、政府委員ヨリ詳細ナル説明ガゴザイマシタ、其説明ノ大要ヲ申シマスレバ、是マデ此種牡牛ノ検査ト云フモノハ、一定シテ居ラナクッテ、區々デアツテ、ドウモ其統一的ニナツテ居ラヌ故ニ、此畜牛ノ改良ヲ圖リ、竝

- 議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス
- 伯爵徳川達孝君 直ニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス
- 伯爵廣澤金次郎君 賛成
- 男爵松平正直君 賛成
- 議長(公爵徳川家達君) 本案ヲ第二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス
- 議長(公爵徳川家達君) 「其他」賛成ト呼ブ者アリ
- 議長(公爵徳川家達君) 直ニ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

ニ其種牡牛ノ検査ト云フモノヲ一定シナケレバナラヌ譯デアル、故ニ此度此法案ヲ提出シタ次第デアル、既ニ此種馬ノコトニ付イテモ明治三十年ニ種牡馬ノ検査法ガ出來タ、ソレニ則テ此検査法ヲ規定シタ次第デアルト申スコトデアリマス、ソレカラ衆議院ノ修正ニナツタ此四月一日ヨリ施行スルト云フコトヲ七月一日ヨリトスルト云フコトニ付イテハ政府ニ於テハ異議ハ無イ、詰リ是ハ四月一日デハモウ當月モ僅デアルシ、施行ノ爲ニ日限ガ少イ故ニ七月トナツタ譯デアル、故ニ敢テ是ハモウ不同意ドコロカ是デ結構デアルト云フコトデアリマシタ、委員會ニ於キマシテハ種々質問モゴザリマスルシ、又希望ヲ述べタ御方モゴザイマス、其質問ノ中ノ重モナル所ヲ申セバ、此第四條「検査ニ關スル費用ハ國庫ノ負擔トス」是ハドウ云フ工合デアルト云テ尋ねマシタ所ガ、最早此二十三議會モ餘日モ僅デアル、故ニ本案ガ兩院ヲ通過イタシマシテモ追加豫算ヲ出斯場合ガ無イカラシテ、是ハ他ノ方カラ支出スル、先づ豫備金ノ方カラデモ支出スルモノデアルト云フヤウナ答デアリマシタ、其他ニ於テ色ニ質問モゴザイマシタガ、是ハチヨットシタ問題デアリマスカラ別段申シマセヌ、希望ノ所ハ此第六條ニ「學術研究ノ爲牡牛ヲ種付けニ使用セムトスル」此箇條ハ結構デアルガ、斯ウ云フコトヲシテハ餘リ手數デハナイカト云フ希望モ述ベラレテ、ドウカ將來ハ成ルベク簡便法ヲ執ッテヤツテ貴ヒタイト云フ希望ヲ述ベタ御方モアル、又或ハ單リ種牡牛ノ検査ヲスルコトハ必要デアルガ、又牝牛ノ取締ノ方モ十分ニヤツテ貴ヒタイト云フ所ノ希望ヲ述ベラレタ御方モゴザイマス、詰ルトコロ特別委員會ニ於キマシテハ全會一致ヲ以チマシテ衆議院ノ修正通リ可決スベキモノト議決イタシマシタ次第ゴザイマス、此段御報告ニ及ビマス

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供ジマス
「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 全部御異議ナイト認メテ宜シウゴザイマスカ
「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、是デ第二讀會ヲ終リマシタ

○伯爵廣澤金次郎君 贊成

○伯爵廣澤金次郎君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス
「其他」贊成ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ
「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ第三讀會ヲ開キマス、二讀會決議ノ通り御異存ゴザイマセヌカ
「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス
「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ第三讀會ヲ開キマス、二讀會決議ノ通り御異存ゴザイマセヌカ
「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

ニナツカト思ッテ居リマス、ソレデ其場合ニハドコカラ提出ニナツカト申セ
バ衆議院ヨリ提出ニナリマシタ、衆議院ヨリ提出ニナリマシタ所デ、政府ハ
絶対ニ反対ヲサレタ、其大體ノ趣意ト云フモノハ全體此戻税ト云フモノハ海
外へ輸出スル所ノ輸出ニ尙ホ獎勵スル爲ノモノデアル、各國何レノ國ニ於テ
モ内地デ消費スルモノニ戻税ヲ與ヘルト云フコトハ不都合デアル、殊ニ内地
ノ生産業者ニ損害ヲ及ボスコトニナルカラシテ、ソレデイケナイ、ソレデ非
常ニ反対ヲサレタ、其時ニ…

〔議長公爵徳川家達君、子爵谷干城君ニ注意ス〕

イ、二割五分、多イトキニハ五割、六割ノ利益ヲシテ居ル者ガアル、デ多少損ヲシタコトモアルケレドモ、之ヲ要スルニ非常ニ利益ニナツテ居ル、スレバ是ホド利益ノアルモノヲ保護スル必要ハ無イト云フ方ガ一種ノ論デアリマス、且又戻税ト云フモノハ今申ス通り何レノ國デモ外ヘ出スモノヲ獎勵スル爲ニ戻シテヤルノデ、内地デ消費スルモノニ戻税ヲヤルト云フコトハ、何レノ國モ無イ例ダ、ソレデ漸ク此頃ソレハ支那ナリ朝鮮ナリヘ輸出ハシマスケレドモ、一體ノ數カラ言ヘバ内地デ消費スルモノガ多イ、總テ人民ハ皆奢侈ニ赴クデアリマスルカラ、今日茶ヲ飲ムニモ水ヲ飲ムニモ良イ砂糖ヲ入レバ愉快ダ、ソレ故ニ非常ナ勢ヒデカラニ此精製糖ノ需要ハ増加シテ來テ居ル、デサウ云フ有様デアルカラシテハ、之ヲ厚ク保護スル必要ハ無イト云フガ反對ノ申分、所デ又政府ノ方カラノ之ニ對スル辯解ト云フモノハ、ソリヤーツノ会社トシテ利益ノ多寡ハ見ル所デハナイ、假令ドノ位ノ利益ヲ得ヤウトモソレハ見ル所デハナイ、又時トシテ成ルホド非常ナ利益モ得タケレドモ、是ハ其原料ヲ外國ヘ行ツテ直キニ買出シヲシ、取引ヲ巧シタカラシテ利益ガアッタ譯デ、ソレ等ノコトヲ以テカラニ此多數利益ノアルト云フヤウナコトヲ見ル譯ニハ行カナイ、其利益ノ多寡ハ眼中ニ置カナイト云フ答辯、殆ド私ドモガ承ルト糖業者ノ辯解ヲスルガ如キ解釋ヲ政府委員カラ承ッタ、ソレデドウシテモ繼續ヲシナケレバ一方デハ外國ノ廉イ精製糖ガ這入ツテ來ル、一方デハ内地ノ精製糖業者ハ立タナイ、ソレガ潰レバ即チ外國ノ砂糖ガドン／＼入テ來テ金貨ハ皆出ル、デ詰リ金貨ガドシ／＼サウハ出ナイ、其内ニハ臺灣ノ粗製糖即チ原料ニナル物モ段々出テ來ルカラ決シテ間ヘナイト云フ、ソレデヤ間ヘルト云フ詰リ、二ツニ分レマシタ、又其中ニドウモ餘り寛大ニ過ギルカラ税率ヲ變更シテ先づ會社ノ假ニ受ケル所ノ利益ヲ半減ニスル、斯ウ云フ修正リト云フコトニナリマシテ、委員會ハ其通リデ議決ニナリマシテゴザンス、隨分念ラ入レテ討論モ致シマシテゴザンスルガ、ナカ／＼政府ノ辯解ガドウモ巧ミニ辯解ガ出來テ、ソレハ速記録ノ通リデゴザイマスカラ、其ノ修正通リト云フコトニナリマシテ、委員會ハ其通リデ議決ニナリマシテゴザンス、此アトニ於キマシテ本員ハ此席ニ立チマシタ序デニ、チヨット自分ノ通リ御承知ヲ願ヒタイ、此段ヲ御報告ヲ致シマス、諸君ノ御判断ニ任せマス、此アトニ於キマシテ本員ハ此席ニ立チマシタ序デニ、チヨット自分ノ考ヲ述ベテ置キタイト思ヒマスル、暫ク御謹聽ヲ願ヒマス、デ最早今日ニ於

キマシテモ、私モ之ニ修正ヲ加ヘルト云フムツカシイ考ハゴザンセヌ、必ズ此儘デ通過ニナリマセウト思ヒマスルガ、此案ハ詰リ其現在ノ精製糖會社ト、新設ノ臺灣ニ起ツタ所ノ製糖會社トノ、此兩立シテ利害ヲ互ニ感ズル案ト本員ハ認メテ居リマス、デ一方ニハ「ドクトル フヰロソフヰー」ノ肩書ヲシテ居ル人ガ其會社長、一方ニハ農學博士ノ肩書ヲ持ツテ居ル人ガ會社ノ長ニナツテ居ル、到頭此雙方ニ立ツテ相撲ヲ取ツテ居ルヤウナ譯デアリマスルガ、其勸進元ハ何レニアルカ、是ハ我輩ノ吟味スル限デナイ、斯ウ云フ有様デアル、ソレデ臺灣其他ノ此砂糖ヲ作り出ス所ノ農民ニハ少シモ感ジヌト云フコトヲ政府ニ於テハ頻ニ辯解ヲサレマスケレドモ、是モ私ハサウハ思ハナイ、必ズ詰リ干涉ヲ及ボシテ、關係ヲ及ボシテ來ルヤウニナル、ソレデ直接ニ苦痛ヲ感ズルノハ新ニ起ラウト云フ會社ガ一番直接ニ苦痛ヲ感ズル、デ之ヲ繼續シテ行クコトニナリマスルト、私ガ考ヘデハ新ニ起ル所ノ製糖會社ハ或ハ餘ホド困難デ成立セヌカモ知レヌ、デ一方ニハ内外共ニ消費スル所ノ砂糖ニ戻税ヲヤル、一方ハ汲々トシテ原料ニナルベキ砂糖ヲ作ラヌナラヌ、サウシマスルト其原料糖ノ製造ガ若シ出來ナクナツタレバ即チ百姓、砂糖黍ヲ作ル所ノ者ハドウシテモ是レ大ニ影響ヲ及ボス譯ニナツテ來ル、ソレハ此現在ノ精製糖會社ノ主タル人モ認メテ居ルデアラウト思ヒマスガ、其現在ノ精製糖會社ノ主ナル即チ農學博士ト云フ人ノ書イタ物ヲ見マスルト決シテ此生產地ニ害ハ及ボサヌガ、若シ有リトスルナラバ、國家ガソレヲ保護シテ助ケテヤル、其言葉ヲ直接ニ言ヘバ、若シ製糖會社ガ臺灣デ起ス精製糖ノ原料會社ガ倒レレバ矢張リソレモ政府ガ義務トシテ助ケテヤラニヤナラヌヤウニ、聞エナル案ニ拘ラズ、隨分ヤカマシイ問題デアリマス、ソレカラモウ一ツ御注意ヲ願ツテ置カニヤナラヌノハ、モウ二箇年延ベルトスウ云フ衆議院ノ案デアル、果シテ之ヲ二箇年延ベテ、ソレカラ臺灣ノ糖業ト云フモノガ大ニ進歩シテ、モウ二箇年目ニハ十分臺灣デ出來ル原料ヲ以テカラニ内地ノ精製糖會社ニモ支給スルコトガ出來ルカト云フニ、是ノ出來ナイコトハ政府モ固ヨリ我モ亦サウ認メル、早急コチラデハ十分ニ一ツ製糖機械ヲ改良シ、一方デハ臺灣ハ土地第一ノ產物、行ク／＼ハ水利土功ヲ施シテカラニ十分ニ經畫ヲシタナ

是ハ我ニモ信ジテ居リマスケレドモ、ナカ／＼二箇年ヤ三箇年デサウ云フ事ノ出來ルモノデハナイ、スレバ此二箇年延ベルト云フ說ハ實ニ其途方モナイ間違タ説デアルト考ヘル、其點カラ云ヘバ寧ロ政府ノ申分ノ通り、明治四年協定税率ノ解ケタトキニハモウ勝手ニ稅ヲ課ケテ宜イカラシテ、ソレマテハ繼續セヌナラヌト云フ政府ノ申分ガ私ハ相當ト考ヘル、又之ヲ二年延ベガ無イ、サウスルト此二年目ニハ又互ニ競争ヲシテ種々ノ收賄ニ致セ起テ來ル、詰リ此法律ヲ二箇年デ、ドウシテモ成功スルコトガ出來メモノナレバ、政府案ノ通リニシタレバ、一ツノ中デ競争ヲシテ無益ノ費用ヲ省クダケデモ餘ホド宜イ、又人民ニ嘘ヲ言ハナイ譯ニナル、又二年延ベテ置イテカラシテ、又是カラ二年目ニハイカヌコトハ分ヅテ居ル、サウスルト收賄ナドト云フコトガ一度デ事ガ足ルモノガ二度モ行ハレルヤウニナル、ソレデ私ハ最初ヨリ報告ノトキニ申上ゲタヤウニ約束通り今日デ消滅スルガ適當ダト思フ、金ガ出タ所ガ仕方ガ無イ、金ガ出ルコトハ是ノミデ無イ、夥シク出テ行ク、殊ニ此年限ヲ付ケタト云フコトハ貴族院諸君モ知ゾテ居ル通リデ、假令一會社ガ倒レタ所ガ何ノコトハ無イ、一會社ノ爲ニ今日此戻稅ヲスル所ノ總額ハ何ボ有ルカト云フト四百萬、三百九十九ナントボ、四百萬圓デアル、殆ド是ハ二箇師團、二箇師團ヲ養フダケノ大キナ金額デアリマス、此取ルベキ金ガ有ルニ拘ラズ之ヲ取ラズシテ、サウシテ會社ニ非常ナ利益ヲ與ヘルト云フモノニナル、諸君ドウカ今日無理ニ稅ヲ非常ニ取ツテ居ルコトハ御承知デアラウガ、此甘イ砂糖ト云フヤツハドウ云フ性質ノ物デアルカ、是ハ奢侈品デアル、前ニ三十五年ノ時分ニ大藏ノ當局者モ言ハレタ通り奢侈品デ、奢侈品ト云フ以上ハ餘ホド重イ稅ヲ課ケテモ問ガ無イ、併ナガラ此協定税率ノ爲ニソレガ出來ナイト云フスウ云フ理窟ニナツテ居ルノハ甚ダ遺憾デハアリマスケレドモ、併ナガラ是ガ次第ニ此精製糖ガ蔓延シラ來マスレバ、モウ數限リモナク良イ物ハ課ケテ行キマスカラ、愈々下ヘモ蔓ツテ來レバ、斯ウ云フ稅ハ政府ガ頻ニ金ヲ集メルニ御心配ニナルヤウデアルガ、政府ノ心配ニシテ十分ヤルガ宜イ、其代リニ此反対ニキ離シテ仕舞ツテ、其代リ砂糖專賣ヲ行ヒ、ドシ／＼稅ヲ上ゲテ取ルガ宜イ、甘イヤツト、辛イヤツト云フモノハ全體コレハ反対ニ立ツモノデアル、鹽ノ專賣ヲ解本員ハサウ云フ考デアリマスガ、今後ハヤ二年目、ソレカラ又明治四十四年、

ハヤ四十四年ニナツタ所デ、私ハマア一ツ明言シテ置ク、政府ノ御見込通り此協定税率ト云フモノガ我ガ今日ノ力デ巧ク行ハレテ行クカ行カヌカ、此砂糖ノ如キハ獨逸、佛蘭西、英吉利ト云フ、此三箇國ナドモ十分今日カラ注意シテ居ル、スレバ餘ホド御注意ニナラヌト矢張リ又甘イコトニナツテ仕舞フ、ソレデ四十四年ニナツテモ、ナカ／＼巧ク行クマイト思フ、サウスルト又之ヲ繼續スルト云フコトニナリハセヌカ、今日カラドウゾ御考ヘヲ願ヒ、序デニ是ダケ私ハ御注意申シテ置キマス

○子爵曾我祐準君 チヨヅト委員長ニ御尋ネ致シタウゴザイマス、御議論ハ御議論デアルガ、御報告中第四條ノ衆議院案ハ如何ナサツカ、是ハハツキリセヌヤウデアリマスカラ、委員會ノ經過ヲシッカリ承リタウゴザイマス

○子爵谷干城君 衆議院案通り決シマシテゴザイマス

○子爵曾我祐準君 修正ノ通リニ

○子爵谷干城君 エー

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御議論モ無イヤウゴザイマスカラ探決ヲ致シマス、本案ヲ第二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○子爵谷干城君 起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス

○子爵鍋島直彬君 直ニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○子爵平松時厚君 賛成

○男爵茨木惟昭君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 「其他「贊成」ト呼ブ者多シ」

○議長(公爵德川家達君) 直ニ第二讀會ヲ開クト云フ、鍋島子爵ノ動議ヲ可

トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマス

○議長(公爵德川家達君) 鍋島君ハ何デゴザイマスカ

○鎌田榮吉君 意見ヲ述ベタイ

〔鎌田榮吉君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 鍋島君ハ何デゴザイマスカ

○鎌田榮吉君 意見ヲ述ベタイ

○議長(公爵徳川家達君) 御登壇ヲ願ヒマス

〔鎌田榮吉君演壇ニ登ル〕

○鎌田榮吉君 諸君、此砂糖ノ問題ハ隨分ヤカマシイモノデアリマシテ、委員會デモ委員長報告ノ如ク反覆質問モアリ、又議論モナカノ多カツタガ、遂ニ多數ヲ以テ衆議院修正案ニ決シマシタ、而シテ我ミハ此委員長ノ報告ニ依ッテ委員ノ意嚮ハ諸君ノ十分御了解ニナルヤウニ報告セラルコトト實ハ期待イタシテ居リマシタ所ガ、委員長ノ御報告ハ即チ此委員會ノ決議ノ趣ニ付イテハ頗ル簡單ニシテ、而シテ委員長デナイ谷子爵一個ノ御意見ニ付イテ縷々御述ベニナリマシタ、是ハ我ミ委員トシテ少シク遺憾ナキヲ得ナイ、ソレデ此委員會ニ於テ自分ノ唱ヘマシタ所ヲ諸君ニ向ッテ申上ゲ、而シテ其御判断ヲ請フト云フコトハ此際必要ナコトト思ヒマス

〔子爵會我祐準君〕ソレハ唯今演説者ノ言ハルルノハ第二讀會ニ於テ言ハレテ宜シイノデスカ、第二讀會ハ逐條ニ付イテ言ハレナケレバナラヌ、最早第一讀會ハ通過シテ居ルト心得マスガ、如何デゴザイマス」と述ブ

○議長(公爵徳川家達君) 曾我子爵ニ申上グマスガ、全部ガ問題ニナツテ居リマスカラ差支ナカラウト心得マス

〔子爵平松時厚君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 唯今、鎌田君ノ登壇中デアリマス

○鎌田榮吉君 全體、本員ノ一個ノ意見ヲ申スト、決シテ極端ナル自由貿易論者デナイ、併ナガラソレト同時ニ無論、保護論者デハナイノデ、唯ダ物ニ依リ其時ニ當リテ是ハ十分或ル程度ノ保護ヲ加フルナラバ内國ニ於テ成立スルモノデアルト云フ業務ニ向ッテ、或ル時期ノ間或ル輕キ保護ヲ加ヘテ成立タルセルコトガ出來ルモノハ之ヲヤツテモ宜シイト云フコトヲ豫ネテ信ジテ居ル、而シテ由來政府ニ於キマシテモ、又其他ニ於キマシテモ、隨分此保護論ハ喧ト云フ說ハ盛デアル、又此議院ニ出マス所ノ請願ナドニモ皆各自分ノ營業ニ向ッテ相當ノ保護ヲ得タイト云フ意向ハ餘ホド現ハレテ來ル様デアリマス、若シ是モ保護スル、アレモ保護スルト云ツテ盛ニ保護シタナラバ非常ナ間違ニナル、國家ハ非常ナ困憊ニ陥ラナケレバナラスト云フコトヲ常ニ私ハ憂慮

シテ居リマス、併ナガラ一度或ル事業ヲ保護スベキ必要アリト見テ保護ヲ始メタナラバ、ソレヲ完全ナル獨立ノ程度ニ至ルマデハ、即チ外國品ト競争シ義務デアラウト考ヘテ居リマス、ソコデ此白糖、即チ精製糖ヲ保護イタシマスルノハ如何ナル方法ヲ以テ保護スルカト申シマスルト、諸君モ御承知ノ通り、茲ニ八十二錢七厘ノ關稅ヲ設ケテ居ル、其八十二錢七厘ガ即チ補償トナツテ製精糖ヲ内國ニ於テ營業セラルルト云フコトニナツテ居リマス、併ナラ此原料ニハ二圓二十五錢ノ關稅ガ課カツテ居リマスカラ、ソコデ原料ニ課スル所ノ稅ハ即チ戻稅ヲスルト云フコトデ此戻稅ヲ取リマスルガ故ニ、即チ八十二錢七厘ダケノ稅ガ外國品ニ課カルト云フコトニナツテ居リマス、即チ此戻稅ヲスルト云フコトハ唯今委員長ノ御述ベニナリマシタノトハ少シク本體ニ於テ變ツテ居ッテ、是ハ單ニ原料ニ課稅セズ、原料無課稅主義デアル、外國カラ這入ッテ來ル原料ニハ即チ稅ヲ課セヌト云フコトニ事實ハナルノデアリマス、然ルニ之ヲ政府ハ此度三十錢ノ稅ヲ課スルコトニナル、製糖者ニ向ツテ三十錢ノ稅ヲ課スルト云フコトハ從價稅五分ニ當ルニ依ツテ三十錢クラ十錢ノ稅ヲ課スルコトニナツテ居リマス、即チ八十二錢七厘カラ三十錢引イテ五十二錢七厘ノ海關稅ガ掛カツト同ジコトデ、之ヲ補償トシテ外國糖ヲ防ぐト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、決シテ國庫カラシテ四百萬ノ金ヲ、内地ノ國民カラ徵收シタモノヲ此砂糖製造者ニ向ッテ遣ルト云フノトハ少シク趣ガ變ツテ居ル、全ク元、出シタ所ノモノヲ戻ス、此粗糖ノ中ニハ直接消費ノ分モアリ、又原料ニナル分モアリマスカラ、今日ノ所デハ到底此港デ以テ全體ノ粗糖ニ向ツテ二圓二十五錢ノ稅ヲ課ケテ、而シテ此精製糖ノ原料トシテ使ハレタ分ダケニ向ツテ拂戻スト云フ外ニ方法ハ無イコトト考ヘマスカラ、ソレデ全部拂戻シタノヲ四十年度ヨリ之ヲ三十錢ヲ課シテ五十二錢七厘ヲ拂戻スト同一ニナラウト云フノガ原案ノ趣意デアリマス、而シテ此粗糖ト云フモチ」ヲ保護シヤウトカ、其他種々様ニモノニ付イテナカノ、保護ヲナサウト云フ說ハ盛デアル、又此議院ニ出マス所ノ請願ナドニモ皆各自分ノ營業ニ向ッテ相當ノ保護ヲ得タイト云フ意向ハ餘ホド現ハレテ來ル様デアリマスガ、此工業ヲ保護スルト同時ニ農業ヲ保護スル、其農業モ他ノ農業ヲ保護スルノデハナクテ、現ニ精製糖ノ原料トナルベキ所ノ粗糖ニ向ツテ保護ヲ加ヘル、其保護ト云フモノハ何デアルカト申スト

非常ノ保護ヲ爲シテ居ル、非常ノ保護ヲ爲スト云フノハ外デハナイ、是カラ臺灣ニ於テ灌漑ヲシテ、其灌漑ヲ爲スガ爲メニ一億八千萬圓ノ金ヲ使ッテ凡ソ六萬町歩クラヰノ地面ヲ作ラウ、而シテ此水利ヲ爲シタガタメニ大ニ此甘蔗ノ栽培ト云クモノヲ宜シク致シタナラバ、後ニハ臺灣ニ於テ三億四億乃至五億ノ砂糖ガ出來ヤウト云フコトデアリマスカラ、即チ其目的ヲ達シマシタ

曉ニハ大變宜シノデス、サウ致シマスルト要スルニ此コトノ困難ナリト云

フノハ原料ヲ作ラシムルト云フコトト精製品ヲ造ラシムルト云フコトヲ同時ニ企テタコトデアルカラ非常ノ困難ナコトニナツテ參リマシタガ、併ナガラ四十

年ヲ以テ之ヲ打切ル筈ノガ即チ一方ノ原料ガマダ出來ナイ、出來ルト云フ說ト、出來ナイト云フ說ガアリマスケレドモ、實際ハ出來ナイノデアリマス、實際ハ出來ナイ爲ニ衆議院ハ四十二年マデニ延バシタナラバ精製糖モニ即チ原料ノ出來ルマデノ間ハ精製糖モ相變ラズ戻税ヲシテ而シテ此精製糖ニ粗

糖ノ方ハ其時分ニナツテ原料ヲ造リマスト云フト、初メテ其原料ガ用サランルト云フコトニナルダラウト云フコトデ、此案ガ決シマシタノデアルカラシテ、ソコデ私ノ考デハ要スルニ此國家ガ保護スル以上ハ粗糖ヲ保護シ又精製糖ヲ保護スル以上ハ、雙方相害スルト云フコトデハ到底イケマセカラシテ、ソコデ雙方成立セシメルコトニ致シマス爲ニハ、到底衆議院ノ案ニ致スヨリ仕方ガナイト思ヒマスカラシテ、簡單ニ其趣意ヲ述ベマシテ今、委員長カラ御報告ニナリマシタダケデハ少シク委員會ノ趣意ガ徹底イタサヌヤウニ思ヒマスカラ、是ダケノコトヲ申上ゲ置キマス

○子爵曾我祐準君 貴族院規則ノ第七十條ニハ斯ノ如キ今ノ演説者ノ如キ議

論ハ第二讀會デハ許サヌト云フコトニナツテ居リマス「第二讀會ニ於テハ議案ヲ逐條朗讀シテ之ヲ議決スヘシ」〔議長ハ便宜朗讀ヲ省略セシムルコトヲ得〕トス様ニアリマス、全ク斯ノ如キ例ハ開クコトヲ好ミマセヌ、演説者ノ御議論ハ御議論トシテハ感服シテ承リモ致シマスガ、之ヲ第二讀會ニ述ベラレルコトハ先例モ無シ、又斯ノ如キコトハ後例タルコトヲ甚ダ好ミマセヌカラ一言申上ゲマス

○議長(公爵德川家達君) 採決イタシマス、特別委員長ノ報告ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○貴族院議事速記録第十四號 明治四十年三月十九日

○子爵鍋島直彬君 直ニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

〔贊成ト呼ブ者多シ〕

○議長(公爵德川家達君) 鍋島子爵ノ直ニ第三讀會ヲ開クト云フ說ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 直ニ第三讀會ヲ開キマス、二讀會決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイモノト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十三、明治三十九年度一般會計所屬ノ經費ヲ各帝國大學特別會計ニ繰越ス場合ニ於ケル剩餘金繰入ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

明治三十九年度一般會計所屬ノ經費ヲ各帝國大學特別會計ニ繰越ス場合ニ於ケル剩餘金繰入ニ關スル法律案
右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治四十年三月十八日

右特別委員長

伯爵寺島誠一郎

貴族院議長公爵德川家達殿

〔伯爵寺島誠一郎君演壇ニ登ル〕

○伯爵寺島誠一郎君 此議案ニナツテ居リマスル法律案ノ審査ヲ付託サレマシタ委員ハ、昨日午前ヲ以テ組織イタシマシテ、引續イテ審査ニ取掛ツタノデゴザイマス、ソレデ審査中ニ於キマシテハ僅カ三四ノ質問ガゴザイマシテ、之ニ對シテ政府委員カラ説明ガアッタノデゴザイマス、ソレデ私ハ其審査ノ經過ノ要領ト結果ヲ御報告イタシマス、併シ御覽ノ通リ甚ダ長キ名稱ヲ荷ウテ居リマスル本案ノコトデゴザイマシテ、從ツテ報告モチットハ長ビクカモ存ジマセヌカラ御断リヲ致シテ置キマス、過日兩院ヲ通過イタシマシテ近日發布ニナリマスル帝國大學特別會計法ハ四月一日カラ施行セラルベキ筈ニナツ

テ居ルノデゴザイマス、其施行ノ上ハ大學ノ仕事ハ此特別會計法ニ據ルコトニナツ、百三十萬圓ハ東京帝國大學ニ、百萬圓ハ京都帝國大學ニ、毎年度支出スルコトニナツテ居ルノデゴザイマス、即チ從來一般會計ニ屬シテ居リマシタ各帝國大學ニ於ケル營繕費、設備費、創立費ハ其繼續費タルト繼續費デナイトヲ問ハズ、總テ四十年度後ハ此特別會計ヨリ支辨セラレルコトニナツテ居ルノデアリマス、然ルニ左様デハゴザイマスルケレドモ、三十九年度ニ於キマシテハ營繕、設備、創立費ノ中デ會計法第二十一、第二十二條ニ從テ、豫算殘額ヲ翌年度、即チ此場合ニ於キマシテハ四十年度ニ繰越シ使用シ得ベキモノハ無論、大學特別會計ニ繰越シテ使用スルコトガ出來得ルノデアリマス、サレドモ豫算ノ上ニ於キマシテ之ニ充ツベキ財源ハ特別會計ニハ繰入レテナインデアリマス、ソレデゴザイマスルガ故ニ、此使用權ニ伴フ所ノ財源ヲ一般會計ヨリ繰入レテ茲ニ歲入ヲ作ツテ支辨ノ途ヲ得ルト云フコトデアルノデアリマス、左様デアリマスルカラシテ、帝國大學特別會計法案ヲ諸君ニ於テ協賛セラレマシテ通過セシメラレタル以上、之ニ關聯シテ自然ノ結果トシテ必要ナル法案ト認メマシテ委員會ニ於テ當然可決イタシマシタノデゴザイマス、尙ホヨツト御参考ノ爲ニ申上ゲテ置キマスルガ、此豫算殘額、唯今ノ營繕費、設備費、創立費ノ豫算殘額ハドノ位デアラウト云フコトヲ或ル委員カラ政府委員ニ御尋ネニナツカ所ガ、三月三十一日ニナラネバ確力ナ額ハ分カラヌノデアル、併ナガラ此三費目ヲ通ジテ十萬圓少シ上ボル位ナモノデアラウ、斯ウ言ハレマシテゴザイマスルカラ、チヨツト申上ゲテ置キマス、斯ノ如キ次第デゴザイマスルカラシテ、尙ホ本議ニ於キマシテモ唯今報告イタシマシタ通リ政府提出案ヲ御可決ニナツテ然ルベキモノデアラウト存ジマス

○子爵銅島直彬君 極メテ簡單ナ案デアリマスカラ、讀會ヲ省略シテ直ニ可決アラムコトヲ希望イタシマス

○伯爵柳原義光君 贊成

○男爵野村素介君 贊成

○伯爵廣澤金次郎君 贊成

○子爵大田原一清君 贊成

○伊澤修二君 贊成

○南郷茂光君 贊成

○侯爵池田詮政君 贊成
○男爵眞田幸世君 贊成

〔其他「贊成」ト呼ブ者アリ〕

○議長（公爵德川家達君）三分ノニ以上ト認メマス、特別委員長報告通リ御異存ゴザイマセヌカ
ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長（公爵德川家達君）三分ノニ以上ト認メマス、特別委員長報告通リ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長（公爵德川家達君）御異議ナイト認メマス

○議長（公爵德川家達君）議事日程第十四、樺太ニ於ケル租稅ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告
樺太ニ於ケル租稅ニ關スル法律案
右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治四十年三月十八日

右特別委員長

伯爵廣澤金次郎

貴族院議長公爵德川家達殿

〔伯爵廣澤金次郎君演壇ニ登ル〕

○伯爵廣澤金次郎君・本案ノ特別委員會ハ昨日開キマシテ、委員長、副委員長ノ互選ヲ結了シ、引續キ開會イタシマシテ、政府原案ノ通リ可決スベキモノト決議シタノデアリマス、政府委員モ出席セラレマシテ、委員カラモ質問ガアリマシタ、審査ノ結果ノ大體ヲ申上グマスレバ、樺太ハ目下マダ軍政ノ下ニアリマスガ、四十年度即チ四月一日ヲ期シテ民政ノ下ニ總テノ行政ヲ執行シヤウト云フ政府ノ方針デアル、就キマシテハ樺太モ既ニ特別會計ニナリマシタシ、多少ノ收入ヲ得ラレル見込ガアルニ依ッテ、本案ノ如キ課稅法ヲ設ケタイト云フノガ政府ノ趣旨デアルノデアリマス、所ガ此案ソノモノハ至テ簡単ナモノデアリマスガ、是ハ甚ダ或ル點ニ於テハ重大ナ案デゴザイマス、ナゼナラバ本案ノ如キ即チ法律事項ヲ勅令ニ全然委任スルト云フ結果ニアルノデアリマス、併ナガラ委員會ニ於キマシテ之ヲ必要ト認メマシタノハ、

権太モ外國デハナシ既ニ日本ノ領土デハアリマスケレドモ、権太ノ今日ノ事情ヲ政府委員ノ説明ニ依ッテ段々承リマスト、目下ノ所ニ於テハ内地同様ノ

租稅法及之ニ伴フ徵稅規則等ヲ執行スルニハ其執行スル機關モアリマセヌシ、又稅率ノ點ニ於テモ内地同様ノ稅率ヲ権太ニ布クト云フコトハ到底今日

ノ所ニ於テハ困難デアル、故ニ已ムヲ得ズノ如キ案デ、法律事項デハアリマスガ、之ヲ勅令ニ譲ツテ相當ノ收入ヲ権太ニ於テ取ルト云フコトニナルノ

デアリマス、ソレデチヨット申上ゲテ置キマスガ、此稅法ニ依リマスト、三種ノ稅ガアリマスガ、何レモ内地ノ稅ノ如ク重キ稅ヲ課スルノデナク、内地

ヨリハ餘ホド輕減シタ稅ヲ以テ此三種ノ稅ヲ課スルト云フコトデアリマス、此三種ノ稅ヲ通ジマシテ四十年度ニ於テ幾ラ位ニナルカト云フコトヲ質問シマシタガ、此三種ヲ通ジマシテ四十年度ノ豫算ニ於テハ僅ニ二萬八千圓ニナルノデアリマス、権太ノ四十年度ニ於ケル收入ノ總額ハ幾ラカト云フト七十

六萬四千圓デゴザイマス、其中ノ僅カ二萬八千圓ガ此案ノ結果デ徵稅サレルノデアリマス、前申シマスル通り委員會ニ於テハ已ムヲ得ザル案ト云フコトデ、全會一致ヲ以テ可決シタノデアリマス、此段御報告ニ及ビマス

○議長(公爵德川家達君) 採決イタシマス、本案ヲ第二讀會ニ移スペシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス

○伯爵廣澤金次郎君 直ニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○伯爵柳原義光君 賛成

○伯爵島誠一郎君 賛成

〔其他賛成ト呼ブ者多シ〕

○議長(公爵德川家達君) 廣澤伯爵ノ直ニ第二讀會ヲ開ク說ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 直ニ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマス、全部特別委員長報告通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、是デ第二讀會ハ終リマシタ

○伯爵廣澤金次郎君 直ニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○伯爵柳原義光君 賛成

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 直ニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十五、印紙稅法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告、柳原伯爵

印紙稅法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治四十年三月十六日

右特別委員長
伯爵柳原義光

〔伯爵柳原義光君演壇ニ登ル〕

○伯爵柳原義光君 唯今議題トナッテ居リマス印紙稅法中改正法律案ノ委員會ノ經過並ニ結果ヲ極簡單ニ御報道申上ゲマス、去ル十四日ニ委員會ヲ開キマシタガ、其時ハ正副委員長ノ選舉ノミデ、越エテ十六日ニ特別委員會ヲ開

カレテ、其時ニハ會議ヲシタノデアリマス、政府委員モ出席サレマシテ、色々質問ヲサレマシタガ、其中少シク要領ヲ得兼ネル所ガアリマシタノデ、委員中ノ德川男爵及室田義文君ノ請求ニ依リマシテ大藏大臣ノ出席ヲ本委員長ヨリ希望シマシテ大藏大臣モ出席サレマシタノデアリマス、ソレデ質問討議ノ末、全會一致ヲ以テ可決ヲシタノデアリマス、此案ハ御承知ノ如ク衆議院

ノ提出案デアリマシテ、言ヲ換ヘテ申セバ非常特別稅法中ノ一ノ整理案タルニ過ギヌノデゴザイマス、ソレデ此案ノ主眼トスル所ハ詰リ、小切手ノ課稅ハ信用取引上ノ發達即チ融通上、大ナル障碍ガアルカラ致シマシテ、之ヲ免除シタイト云フノガ此案ノ主眼ナノデゴザイマス、ソレデ全體非常特別稅ノ賦課ガ小切手ニ及ンダノハ是ハ戰時デアッタカラ致シ方ガ無イガ、尙ホ今日マデ之ヲ存續シテ置クト云フコトハ誠ニ不都合デアル、ノミナラズ戰後經濟界ノ發展ニ是ハ伴ハナイ、ケレドモ又一方カラ見レバ戰後各種ノ方面ガ財政ガ多端ノ折柄デアルカラシテ、假令少額タリト雖モ歲入ニ減額ヲ來タスト云フコトハ、希望シナイカラシテ、ソレデ此案デハ小切手ノ課稅ヲ免除スルト共ニ他ノ一方ニ於テハ約束手形ノ稅率若干ヲ引上げテ、サウシテ彼レニ失フ所ヲ是デ補フト云フコトニナツテ居ルノデゴザイマス、サウシテ又其引上げタ約束手形ノ稅率モ之ヲ普通諸種ノ印紙稅ニ比較シテ見レバ頗ル其率ハ低ウゴザイマスカラシテ、必シモ又取引者ヲ苦マシムルト云フコトハ無イノデアリマスカラシテ、要スルニ此案ハ毫モ國庫ノ收入ニハ損失ガ無クテ、サウシテ小切手ノ稅ヲ免除シ信用取引ノ發達ヲ圖リ、經濟社會ノ進運ニ應ズルコトガ出來ルト云フノガ此案ノ主眼ナノデアリマス、ソレデ大藏大臣ニ此案ニ對スルコトハドウ云フ考デアルカト云フコトヲ質問ヲ試ミシタ所ガ、大臣ノ曰ク此内容ニハ異議ハ無イ、併シ今稅法調査會ガアッテ其稅法調査會ニ於テ尙ホ此外ニモ非常特別稅法中ノモノヲ整理スル爲ニソレヲ一括シテ稅法全體ノ上カラ調査シテ研究中デアルカラ、今此小切手ノ稅ノミヲ拔出シテ免除スルコトハ後ニ至リテ他ノ整理案ト多少ノ權衡、不都合ヲ見ルカモ知ラヌカラ、先ヅ唯今ハ同意スルコトハ出來ヌ、併シ内容ニハ毛頭異議ハ無イト云フコトデアッタノデアリマス、然ラバ稅法調査會ノ結果ヲイツ御發表ニナルカト云フコトヲ委員カラ質問イタシマシタ所、多分次ノ議會ニ發表スルコトガ出來ルデアラウ、今ナゼ出來ナイカト云ヘバ、今少シク民間ノ各方面ノ議論及歐羅巴ノ普佛戰爭後ノ稅法改革ノ例ヲモ參酌シテ徐ロニ之ヲヤリタイト云フ考デアルカラ、多少時日ガ要ルト云フコトデゴザイマシタ、ケレドモ前述ノ如ク此案ノ内容ニハ同意スルケレドモ、稅法調査ノ結果ヲ發表前デアルカラ、同意スルコトガ出來ヌト云フコトデアッタノデゴザイマス、斯ノ如キ薄弱ナル理由デハ是ハ衆議院提出ノ案デアッテ、而モ現ニ信用取引ノ發達上、小切手ノ稅ヲ早ク免除スルト云フコトガ必要デアルニモ拘ラズ、斯ノ如キ薄弱ナル理由

○議長(公爵德川家達君) 不明瞭デアリマスカラ、反対ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス	○議長(公爵德川家達君) 採決イタシマス、本案ヲ第二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス
○起立者 少數	○起立者
○議長(公爵德川家達君) 贊成ノ方ガ多數ト認メマス	○議長(公爵德川家達君) 贊成ノ方ガ多數ト認メマス
○伯爵柳原義光君 直ニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス	○伯爵柳原義光君 直ニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス
○子爵大田原一清君 贊成	○子爵大田原一清君 贊成
○侯爵池田詮政君 贊成	○侯爵池田詮政君 贊成
○議長(公爵德川家達君) 「其他「贊成」ト呼ブ者多シ」	○議長(公爵德川家達君) 「其他「贊成」ト呼ブ者多シ」
○議長(公爵德川家達君) 直ニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イテ御異議ゴザイマセヌカ 〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕	○議長(公爵德川家達君) 直ニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イテ御異議ゴザイマセヌカ 〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕
○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス	○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス
○議長(公爵德川家達君) 直ニ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマス、 〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕	○議長(公爵德川家達君) 直ニ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマス、 〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕
○伯爵柳原義光君 直ニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス	○伯爵柳原義光君 直ニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス
○子爵前田利定君 贊成	○子爵前田利定君 贊成
○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、是デ第二讀會ハ終リマシタ	○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、是デ第二讀會ハ終リマシタ
○議長(公爵德川家達君) 贊成	○議長(公爵德川家達君) 贊成
○議長(公爵德川家達君) 御異議ゴザイマセヌカ 〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕	○議長(公爵德川家達君) 御異議ゴザイマセヌカ 〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕
○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス	○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長（公爵徳川家達君）直ニ第三讀會ヲ開キマス、第二讀會ノ決議通り御異議ゴザイマセヌカ

「異議ナシト」呼ブ者アリ

○議長（公爵徳川家達君）御異議ナイト認メマス

○議長（公爵徳川家達君）此際諸君ニ御諮リヲシマスガ、會期モ追ニ切迫ヲ致シマシタカラ、議案配付後ノ日限ヲ短縮シテ議事ヲ開イテ御異議ゴザイマセヌカ

○議長（公爵徳川家達君）御異議ナイト認メマス、明日ハ議案ノ都合デ議事ヲ開キマセヌ、明後二十一日ニハ開キマス、其議事日程ハ決定次第アトヨリ御通知ニ及ビマス、今日ハ是デ散會イタシマス

午後零時四分散會

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ